

アトピー性皮膚炎用チューブ型包帯「チューブエイド®」

# TUBE AID®

日本製

皮膚パッチ  
テスト済み

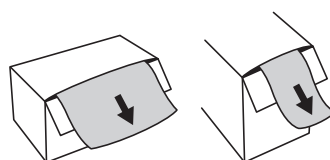
「チューブエイド®」をお買い求め頂き、誠にありがとうございます  
ございます。

「チューブエイド®」は、軽くて伸縮性に優れたチューブ  
型の包帯で、皮膚外用薬や保湿クリームを用いた薬物療法・  
スキンケア等に適しています。

「チューブエイド®」は、優れた伸縮性と通気性で、長時  
間着用しても安全で快適な装着感が得られます。使用部位  
や年齢に合わせて、様々な種類を取り揃えています。

- 装着時のズレがほとんどなく、搔破行為から皮膚をカバーし  
ます。
- チューブ型の包帯なので、手軽で無駄なく、装着がスピー  
ディーに行えます。
- 特殊な編み方により、優れた通気性と伸縮性を実現しました。
- 塗布した外用薬が衣服着用により拭き取られることを防ぎ、  
適切な経皮吸収を助けます。

## 【チューブエイド®の取り出し方】

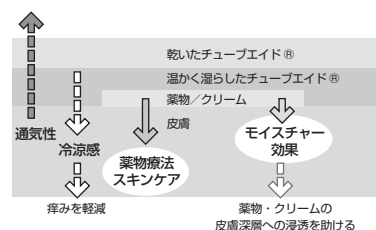


取出しラベルがある側の箱  
側面のフラップを外へ折り  
返し、チューブエイド®を  
引き出してお使いください。

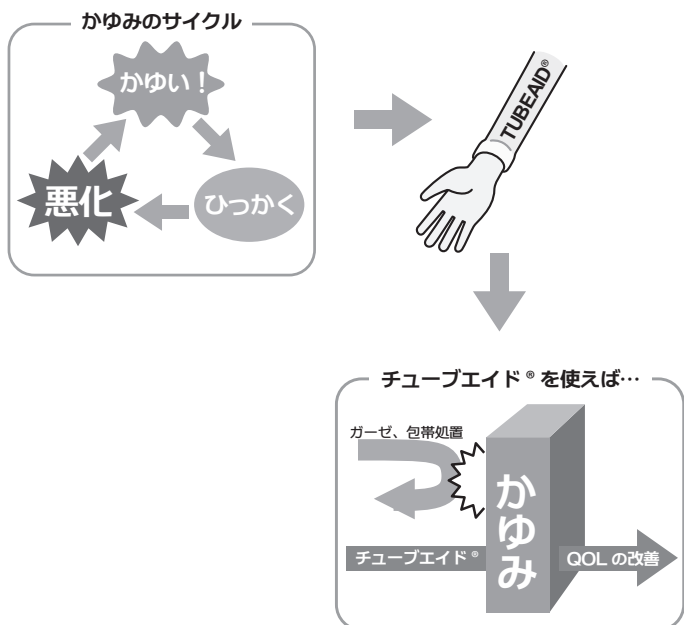
## 湿潤ラップ法は、画期的なスキンケア 湿潤ラップ法 (Moist Wraps Technology) とは

アトピー性皮膚炎、アトピックドライスキンなど、皮膚の  
保湿効果を高め、薬物療法の経皮吸収促進によるセラミド  
ケアへの早期移行を可能にし、冷涼感による『かゆみ』『不  
快感』を取り除く画期的な手技です。湿潤ラップ法は、患  
部に外用薬や保湿クリームを塗った上で、チューブ型包帯  
(チューブエイド®) を二層に装着して、炎症を起こして  
いる皮膚を搔痒行為から保護する方法です。チューブエ  
イド® は、それぞれ暖かく湿らせた層と、乾いた層とを二層  
に装着するため固定を確実にし、皮膚表面の潤いを保つモ  
イスチャー効果を高めつつ、衣服を汚さず日常生活の不  
快さを軽減して、患者様の QOL 改善が期待できます。

## アトピック・ドライスキンについて



いま、アトピー性皮膚炎の原因の背景として、アトピック・  
ドライスキンが問題となっています。アトピック・ドライ  
スキンとは、化学物質や物理的的刺激、大気の乾燥により、  
皮膚表面の保湿を司る角質内のセラミド量が減少すること  
で、皮膚の潤いと柔軟性が失われてしまい、バリア機能ま  
で低下させてしまいます。湿潤ラップ法 (Moist Wraps  
Technology) は、アトピー性皮膚炎やアトピック・ド  
ライスキンなど、皮膚の保湿効果を高め、薬物療法の経皮  
吸収促進によるセラミドケアへの早期移行を可能にし、冷  
涼感による『痒み』『不快感』を取り除く画期的な手技です。



## 〈取扱 (洗濯) 上の注意点〉

洗濯により、ほつれが出る場合があります。手洗いでや  
さしく洗っていただきますとほつれを少なくすることが  
できます。アイロン、乾燥機は使用できません。漂白剤  
の使用や、ドライクリーニング、ウェットクリーニング  
は行わないでください。また、可燃物のため火気のある  
場所に保存しないでください。



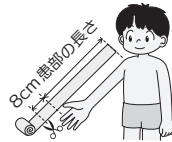
本製品は、編み上げ時の糸切れや糸原料ロットの切り替  
わり箇所等により、ロール巻の始端と終端を繋いで 5m  
を構成している場合がありますが、不良品ではございま  
せん。繋いでいるテープを外してご使用ください。

# TUBE Aid (チューブエイド)® による、 湿潤ラップ法の着用方法 (抜粋)

まず、湿潤ラップ手技をはじめの前に、入浴で体全体を綺麗にしてから柔らかいタオルで水気を取ってください。

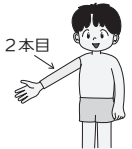
次に、胴体、手足など各部位を採寸します。寸法、数量等、必要にあわせてチューブエイド® (チューブ型包帯) を裁断します。

## 腕の場合



1. 患部の長さに約8cm 加えたチューブエイド®を二本裁断して用意します。一本のチューブエイド®をぬるま湯に浸します。  
※冬は火傷しない程度の熱めのお湯(40℃位)をお薦めします。

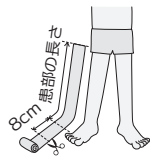
2. 薬物療法の場合、患部にはステロイド外用薬等を、他の部位には保湿クリームを満遍なく塗ります。セラミドケアの場合、被せようとする部位全体に保湿クリームを満遍なく塗ります。



3. ぬるま湯あるいはお湯に浸したチューブエイド®を軽く絞り、患部に着用します。

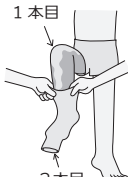
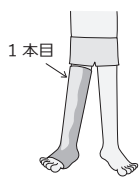
4. 二本目の乾いたチューブエイド®を、その上から二重に着用します。

## 脚の場合



1. 患部の長さに約8cm 加えたチューブエイド®を二本裁断して用意します。一本のチューブエイド®をぬるま湯に浸します。  
※冬は火傷しない程度の熱めのお湯(40℃位)をお薦めします。

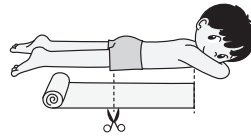
2. 薬物療法の場合、患部にはステロイド外用薬等を、他の部位には保湿クリームを満遍なく塗ります。セラミドケアの場合、被せようとする部位全体に保湿クリームを満遍なく塗ります。



3. ぬるま湯あるいはお湯に浸したチューブエイド®を軽く絞り、患部に着用します。

4. 二本目の乾いたチューブエイド®を、その上から二重に着用します。

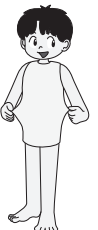
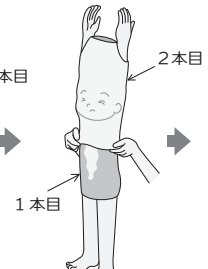
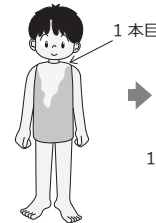
## 胴体の場合



1. 首の付け根からお尻までの長さのチューブエイド®を二本裁断して用意します。

2. まず二本とも胴体に着用し、両腕の位置に印をつけ、いったん取り外して穴を開けます。  
※チューブエイド®は水に濡らすと若干縮みますので、穴は縦方向で小さめに入れてください。

一本目のチューブエイド®をぬるま湯に浸します。

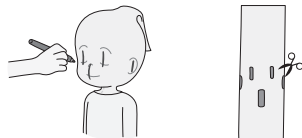
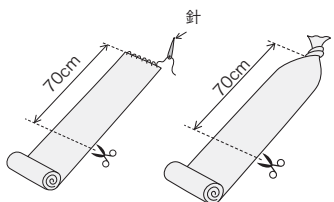


4. 薬物療法の場合、患部にはステロイド外用薬等を、他の部位には保湿クリームを満遍なく塗ります。セラミドケアの場合、被せようとする部位全体に保湿クリームを満遍なく塗ります。

5. ぬるま湯あるいはお湯に浸したチューブエイド®を軽く絞り、患部に着用します。

6. 二本目の乾いたチューブエイド®を、その上から二重に着用します。

## 頭部の場合



1. 顔の幅に合わせて、チューブエイド®のサイズを選び、約70cmの長さに裁断し、片方の端を縫い合わせるか、結び目を付けて縛り止めます。

2. 顔に被せて、目・鼻・口の位置に印をつけ、いったん取り外して穴あけを行います。  
※頭部に着用するチューブエイド®の穴あけは、被せたまま穴をあけると皮膚や目などを傷つける不慮の事故につながりますので、絶対に避けてください。

チューブエイド®をぬるま湯に浸します。  
※冬場は火傷しない程度の熱めのお湯(40℃位)をお薦めします。



3. 薬物療法の場合、患部にステロイド外用薬等を、ほかの部位には保湿クリームを満遍なく塗ります。セラミドケアの場合、被せようとする部位全体に保湿クリームを満遍なく塗ります。

4. ぬるま湯に浸したチューブエイド®を軽く絞り、再び被せます。  
※顔に関しては、チューブエイド®を二重着用する必要はありません。

アトピー性皮膚炎用チューブ型包帯「チューブエイド®」  
**TUBE Aid®**

### 【製造発売元】

株式会社アレルギーヘルスケア

〒633-0053 奈良県桜井市谷 63-1

TEL 0744-44-5558 / FAX 0744-44-5552

E-Mail info@mogumogu.jp

URL <https://www.mogumogu.jp/>